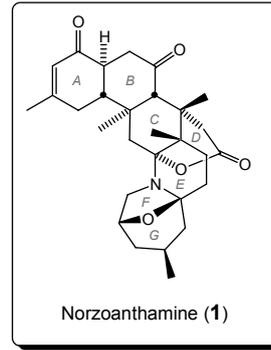


31-0005 W7-1

ノルゾアンタミンの合成研究

○村田 佳久¹, 島貫 真人¹, 中崎 敦夫¹, 小林 進¹ (¹東京理大薬)

ノルゾアンタミン(1)はビスアミナル構造(CDEFG環)を有し、また、10個ある不斉中心のうち、5つが不斉四級炭素であり、そのうち4つが中央のC環部に集中する極めて複雑な七環性のアルカロイドである。全合成における課題はC環部の三個の不斉四級炭素を立体選択的に構築することである。そこで、C環部の3つの不斉四級炭素を制御してからAB環を組み上げ、最後にDEFG環を一挙に構築する合成戦略を立てた。



キラルな2を出発原料とし、メチル化により、2つの不斉四級炭素を有する3を合成することに成功した。3つ目、すなわち最後の不斉四級炭素はEschenmoser-Claisen転位(8→9)により構築し、3つの不斉四級炭素の整ったC環を合成することができた。現在、9からAB環の構築の検討中である。

